

5 収支の状況

(単位：千円)

項目		令和5年度	令和4年度(前年度)	令和3年度(前々年度)
収入	指定管理料	14,907	14,366	15,158
	利用料金収入	0	0	0
	事業収入	0	0	0
	その他	191	223	149
	計	15,098	14,589	15,307
支出	人件費	9,997	9,720	8,906
	管理運営費	2,809	2,987	3,776
	事業費	920	556	1,233
	その他	1,372	1,326	1,392
	計	15,098	14,589	15,307
収支		0	0	0

6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	<ol style="list-style-type: none"> 1 企画展の看板、展示解説シートなどを自主制作し、コスト削減に努めている。 2 委託業務(植栽)についてフレキシブルな施設美化管理や障がい者支援・雇用促進の観点から障害者支援施設へ業務を依頼し、コスト削減に努めた。 3 自主事業において、体験学習の材料費や各種講座の資料代を参加者の自己負担としている。
サービス向上の取組	<ol style="list-style-type: none"> 1 考古学専門講座を開催し、生涯学習への意欲を高めている県民のニーズに応じている。 2 理解を深めてもらうため、展示解説パンフレットや解説シートを配布している。 3 歴史文化遺産の保存や活用を題材としたボランティア養成講座を実施している。 4 埋蔵文化財センターボランティア「アワコウコ楽倶楽部」の活動のサポートを行っている。 5 来所者が遺跡や出土品に興味を持ち、より深い知識を得るため、タブレットなどの電子端末機器を利用した情報提供を行っている。 6 特別展示やミニ展示の内容に合わせて、展示物と関連付けたクイズなどを企画し、理解を深めることができるよう工夫している。 7 新型コロナウイルス対策として来所者用消毒液やマスクを常備する等、感染拡大予防対策を行っている。

7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	<p>《レキシルとくしま企画展示》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財企画展示 10/7(土)～11/26(日) ・四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展 「四国を掘る一城と城下町」 1/13(土)～3/10(日) <p>《考古学専門講座》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/14(日)春期企画展示「鎌倉時代の徳島展」関連「城を攻める、守る—古文書から読み解く—」講演会 ・6/25(日)「発掘とくしま 報告会」 ・7/9(日)「発掘とくしま 報告会」 ・9/10(日)秋期企画展「とくしまの重要文化財、大公開！」講演会 講演「徳島県観音寺・敷地遺跡出土品の魅力に迫る」 アワコウコ楽講座「古代の阿波国と観音寺・敷地木簡」 ・11/12(日)埋蔵文化財企画展示「アニメのなかのコウコ楽」講演会 ・2/4(日)発掘へんろ展 四国を掘る一城と城下町—講演会「徳島の城下町跡—発掘調査の成果から—」・展示解説 ・2/18(日)発掘へんろ展 四国を掘る一城と城下町—講演会「刀剣の話」・展示解説 <p>《おもしろ古代体験》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4/30(日)、5/1(月)、5/5(金祝)「GW勾玉づくり」 ・7/2(日)「発掘とくしま関連『勾玉づくり』」 ・11/5(日)「鑄型でガラス玉をつくろう」 ・3/3(日)「遺跡めぐりバスツアー(阿波三城巡り)」
----------	---

8 管理運営業務に係る点検・評価

項目	評価	点検結果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	B	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント毎に来館者へのアンケートを実施し、来館者のニーズを事業企画に反映させるよう努力している。 ・講座や企画展などが地元雑誌やケーブルTVに取り上げられるなど、施設のPRが浸透しつつある。 ・新型コロナウイルス対策として来所者用消毒液やマスクを常備し、疫病予防対策をしている。 ・施設のキャラクター「やのまる・フンディ」を活用した取り組みを行い、利用者から好感をもたれている。 ・新型コロナ流行時よりも来館者数が減少していることから、施設の利用促進について策を講じる必要がある。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	S	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵品を生かした企画展や講座などを積極的に実施し、県民の興味、関心に大きく貢献している。 ・「発掘へんろ」は、四国内の埋蔵文化財調査期間が協力して企画展や講演会などを開催するもので、文化財の連携において先駆的な事業として県民からの評価を得ている。 ・ボランティア組織の育成から活動支援までを一体的に実施するため「史跡ウォーキング案内ガイドプロジェクト」「万葉の草花を楽しむプロジェクト」「古代ものづくりプロジェクト」と3コースの事業を実施し、文化財ボランティア養成のための先駆的な取り組みを行っている。 ・「古代体験まつり」の開催において人気企画の「勾玉づくり」や「土器づくり」以外に、低年齢の子どもも体験できる内容もあり、多くの方が来館して楽しめる企画を実施している。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	<ul style="list-style-type: none"> ・県民利用の設備については、定期的なメンテナンスを実施し、適切に管理している。 ・展示室やロビー、研修室などの電球のLED化を進め、省電力化に努めている。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	A	<ul style="list-style-type: none"> ・体験学習など材料費が伴うものについては、参加者の自己負担としコスト削減を図っている。
⑤管理運営体制等 ・管理運営業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	<ul style="list-style-type: none"> ・セルフモニタリングの結果については、毎月10日までに報告書を提出している。 ・職員に対し、人権研修やAED講習などを実施している。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	<ul style="list-style-type: none"> ・適切にイベント体験事業を実施するために、利用者サービスに対応できる人員の確保に努めている。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	<ul style="list-style-type: none"> ・受付案内業務等に関連学科の県内大学生アルバイトを配置している。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	<ul style="list-style-type: none"> ・センターで養成したボランティアが活動できる場の提供をするとともに、自立した組織としての継続した活動の支援を実施している。 ・あずたむらんど徳島との連携が図られている。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルを職員全員に配布し、周知に努めている。 ・避難訓練と防火教育の一環として、消防職員による消火訓練及び講話を実施している。 ・職員にAED研修を行い、緊急時の対応ができるようにしている。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	・館内は適温を保てるよう適切な温度管理を行っている。 ・屋外施設へのアクセス通路や施設周辺の清掃や草刈りを職員やボランティア団体と行き、環境美化に努めている。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	・関係規定については職員に配布し、周知に努めている。 ・情報公開に関する規定を設け管理体制を整備している。
総合評価	A	・埋蔵文化財の保存、活用を図り、県民文化の向上に資するという徳島県立埋蔵文化財総合センター（レキシルとくしま）の設置目的に沿って、指定管理者業務を適切に遂行している。

〈評価指標〉 S：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
A：概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。
B：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
C：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

9 その他（今後の課題及び対応等）

<p>・展示施設、研修室等の指定管理対象施設を拠点とした活動を地元のボランティア団体と連携して行ったり、自立するための支援を行ったりするなど、地域連携が図られているが、埋蔵文化財公開活用の重要性が増す今日、より一層施設の利用促進に有効な手段を考えていく必要がある。</p> <p>・体験メニューを精査し、天候に左右されないイベントの開催を実施する必要がある。</p>
